

意 見 書

平成 20 年 12 月 19 日

総務省総合通信基盤局
電気通信事業部事業政策課 御中

郵便番号 100-8019

(ふりがな) とうきょうと ちよだくうちさいわいちょう
住 所 東京都千代田区内幸町一丁目1番6号

(ふりがな) エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ かぶしがいしゃ
氏 名 株式会社

代表取締役社長 わさい ひろみ 和才 博美

「電気通信事業分野における競争状況の評価に関する実施細目2008（案）」に
関し、別紙のとおり意見を提出します。

頁	段落	意見
1	1-2	<p>【総務省案】</p> <p>2008年度における戦略的評価のテーマは、「新サービスの市場競争への影響に関する分析」とし、FMCなど市場に登場しつつある新たなサービスが競争に及ぼし得る影響について分析することとする。評価結果については、定点的評価とともに、2009年5月目途で包括的に取りまとめ、意見招請を実施して最終的に確定する。</p> <p>【意見】</p> <p>現在、移動体市場が寡占的な構造にある中で、一部の移動体事業者が自社又は自社と資本関係にある事業者の固定電話との間の通話料を無料とする小売料金を設定しております。また、一部の移動体事業者からは「自社内通話や自社グループ間通話の利用料金を無料にする一方で自社以外の携帯電話などから着信した場合に接続料を頂けるので利益を出すことが出来る」（2008年3月期ソフトバンク社中間決算説明会）とのコメントが出されており、通話料無料のコストを接続料に転嫁し、回収しているという可能性が考えられます。</p> <p>以上のように、移動体市場の市場支配力を固定電話市場で行使している懸念があることから、詳細な分析が必要と考えます。</p>